

No	国・地域	累計感染者数(A)	死亡有りの国での割合	中国以外	死者数	死亡率(C)	韓国の死亡率の何倍(C/韓国死亡率)	韓国の死亡率を元に感染者数を推計すると(B)	補足率(A/B)	推定感染者中の割合
2	中国	80,651	81.34%	—	3070	3.8%	6.13	494,635	16%	88.3%
21	イタリア	4,636	4.68%	25.06%	197	4.2%	6.85	31,740	15%	5.7%
30	イラン	4,747	4.79%	25.66%	124	2.6%	4.21	19,979	24%	3.6%
7	韓国	6,767	6.82%	36.57%	42	0.6%	1.00	6,767	100%	1.2%注1
8	米国	233	0.23%	1.26%	11	4.7%	7.61	1,772	13%	0.3%注2
11	フランス	577	0.58%	3.12%	9	1.6%	2.51	1,450	40%	0.3%注3
1	日本	418	0.42%	2.26%	6	1.4%	2.31	967	43%	0.2%
27	スペイン	355	0.36%	1.92%	5	1.4%	2.27	806	44%	0.1%
3	香港	105	0.11%	0.57%	2	1.9%	3.07	322	33%	0.1%
12	オーストラリア	58	0.06%	0.31%	2	3.4%	5.56	322	18%	0.1%
36	イラク	35	0.04%	0.19%	2	5.7%	9.21	322	11%	0.1%
39	スイス	210	0.21%	1.13%	1	0.5%	0.77	161	130%	0.0%
24	英國	163	0.16%	0.88%	1	0.6%	0.99	161	101%	0.0%
54	オランダ	82	0.08%	0.44%	1	1.2%	1.96	161	51%	0.0%
6	タイ	47	0.05%	0.25%	1	2.1%	3.43	161	29%	0.0%
5	台湾	44	0.04%	0.24%	1	2.3%	3.66	161	27%	0.0%
66	サンマリノ	21	0.02%	0.11%	1	4.8%	7.67	161	13%	0.0%
23	フィリピン	5	0.01%	0.03%	1	20.0%	32.22	161	3%	0.0%注4
2020/3/6		99,154	100.00%		3477	3.5%	5.65	560,211	18%	100%

中国以外の合計 18,503 人(注5) 中國以外の合計 65,575 人 11.7%  
 4カ国 59,453 人 90.7% 注6

注1：発症数が多い国で死亡率が最低ということは多人数を検査して陽性になった人を良く捕捉していると推定し、韓国での死亡率を推定の元とした。恐らく、実際はもう少し低い死亡率と思われるが、0.5%としても通常のインフルエンザの5倍程度であり楽観できない。
注2：米国の場合、早くに中国からの流入を防いでいる。武漢からとダイアモンドプリンセス号からの帰国者が約60名。従ってこの推計では米国の国内感染は実際よりも多く推計されていると思われる。
注3：フランスの感染者数は日本を超えたが、なぜかWHO事務総長から重視されていない。
注4：イラク、フィリピン、サンマリノなどの補足率の低さが気になる。これらの諸国に対するWHOの対策は明確ではない。
注5：死亡者が出た国の感染者数から計算すると、イタリア、イラン、韓国、米国、日本の率は全体に対して16%、中国以外の90%となるが、中国が全体の81%で、それ以外を強調して危険と語る論理は非常におかしい。
注6：死亡者が出た国の推定感染者数から計算すると、イタリア、イラン、韓国、米国、日本の率は全体に対して12%、中国以外の91%となるが、この部分を強調するWHO事務局長のコメントは論点ずらし以外の何物でも無い。全体の88%を占め、感染拡大の初期対応を失敗した中国の危険性こそが強調されるべきだろう。
注7：最近WHO事務総長はイタリア、イラン、韓国の危険を語り、日本を入れなくなったとのことだが、フランスを入れないことや中国の成果を強調するのは、誤ったコメントと言わざるを得ない。